

30 広報活動による環境情報の提供

共通

取組概要	進行管理の指標	平成25年度の取組結果	
水道と下水道との連携及び内容の充実を図りながら、上下水道局が行っている環境施策について、より効果的な情報提供を積極的に行う。	○効果的な情報提供、PRに向けた取組	○川崎国際環境技術展等の各種イベントで、上下水道局における環境への貢献に向けた取組について積極的なPRを実施	
		評価	B

3か年計画の総括	今後の取組
○川崎国際環境技術展等の各種イベントにおいて、上下水道局における環境への貢献に向けた取組や、水は、水源地から浄水場・配管等を経て家庭等へ、そして使用後に下水へ流れ、処理後、自然へ戻されるという水循環に対する理解と関心を深めることを目的に積極的なPRを実施	○水道及び下水道の連携強化と内容の充実を図りながら、より効果的な情報提供・PRを継続実施
評価	B



かわさきみずみずフェアの様子

31 環境報告書・環境会計の公表

共通

取組概要	進行管理の指標	平成25年度の取組結果	
上下水道局における環境保全の取組状況を市民・事業者の皆様にお知らせするため、環境会計※を包含し、各年度の決算版として環境報告書を作成・公表する。	○上下水道局環境計画年次報告書の作成・公表	○平成26年2月に、環境会計を包含した上下水道局環境計画年次報告書（平成24年度決算版）を作成・公表	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※環境会計 環境保全の取組に必要とされる環境保全コストと効果を比較し、その評価を明らかにするための会計手法 </div>		評価	B

3か年計画の総括	今後の取組
○上下水道局環境計画年次報告書の作成・公表を継続実施（平成22年度決算版は、環境報告書として公表）	○上下水道局環境計画年次報告書の作成・公表を継続実施
評価	B



環境計画年次報告書

上下水道局における電力需給対策

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓とした取組として、電力需給対策に取り組んでいます。

川崎市上下水道局における電力需給対策の概要

上下水道局が所管する水道事業、工業用水道事業及び下水道事業は、その活動過程において多大な電力が必要であり、電気使用量は市役所全体の4割強を占めています。このことから、上下水道局の電力使用施設を、本庁舎等の執務室と浄水場・水処理センター等の上下水道施設に区分し、年間を通じた電力需給対策推進基本方針を策定し、節電等の電力需給対策に継続的に取り組んでいます。

[執務室]

本庁舎や各事業所等については、市役所の取組内容と同様に、照明の間引き・減灯等により総電気使用量を平成22年度比で15%以上削減することを目指します。

[上下水道施設]

浄水場、水処理センター等については、配水量及び処理水量に応じて電気使用量が変動するという特殊性があり、計画的に電気使用量を15%以上削減することは市民生活に多大な影響を及ぼすため、施設電力需給バランスの確保に寄与することを目的に、送水ポンプの運転台数削減（浄水場等）や、給排気ファンの間欠運転（水処理センター等）等により、ピークカットの視点を中心とした節電に取り組んでいます。

年度別・区分別電気使用量

(単位：kWh)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	(対22年度比)
執務室	1,460,320	1,163,046	1,236,567	1,139,558	(△22.0%)
上下水道施設	145,948,839	140,848,035	136,726,245	138,027,332	(△5.4%)
水道・工業用水道施設	44,665,319	43,680,463	41,478,547	40,990,814	(△8.2%)
下水道施設	101,283,520	97,167,572	95,247,698	97,036,518	(△4.2%)
計	147,409,159	142,011,081	137,962,812	139,166,890	(△5.6%)

電気使用量の推移

